



「全員生でいい〜?」

「いいよ」 「はよ頼んで」

ザザザ

「……あ、俺も生……」

……そ、そういやノエルちゃん……
お酒、大丈夫だっけ……?」

ボン……

(聞こえてるか……?
……これ……)

?

「ん〜? まーあんまり強くないけど……
……ビールくらいなら別に大丈夫だよ?」

(……ノエルちゃん大丈夫かな……心配だ……
この前凄い酔ってたって聞くし……)

(飲みすぎてたら止めてあげないと……
ノエルちゃんは俺が守らなきゃ……
その為にわざわざ来たくもない飲み会に来たんだし)

(……ここにいる男達全員……
女関係で終わってるクズばっか……)

(ノエルちゃんを酔わせて
連れて帰ろうと思ってるんだらうけど……)

(こんなクズみたいな奴ら……
ノエルちゃんに近寄らせないからな……!!)



「あゝアタシとこの子も生でゝ!!」

「おっけゝノエルちゃゝん♡」

「他の奴らも全員生でいいよなゝ? すんませゝん……」

ムン

「あつ、あ……頼んでくれてありがと」

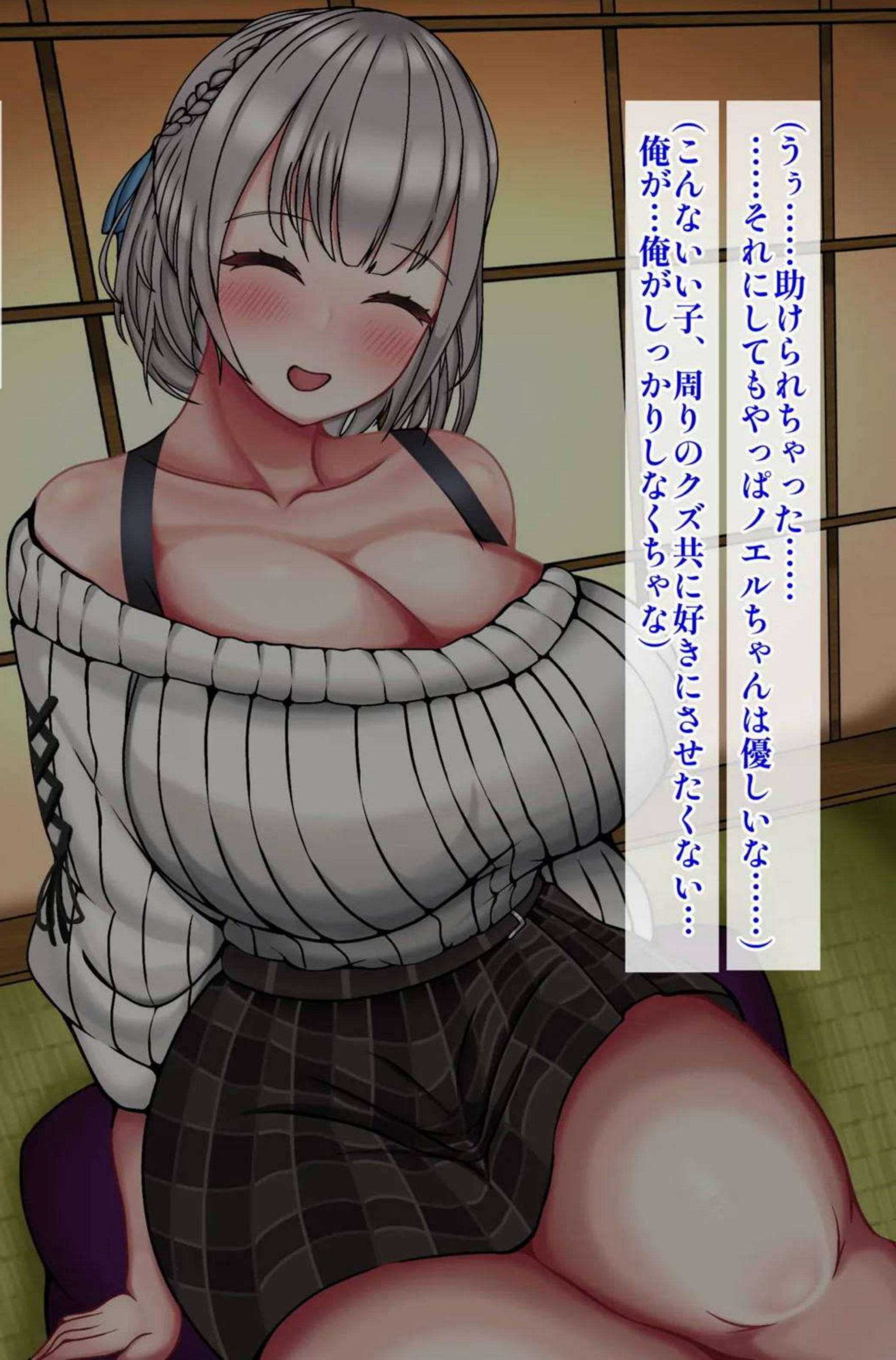
「いいよいいよゝ♡」



数分後

（うう……助けられちゃった……
……それにしてもやっぱノエルちゃんは優しいな……）

（こない子、周りのクズ共に好きにさせたくない……
俺が……俺がしつかりしなくちやな）



「全員ビール来た〜？」

「きたきた〜」

「来てるよ〜」

「来ちよるよ〜」

「き…来てるよ〜」

「よし、それじゃあ……」



「「かんぱ〜い!!」」

「かんぱ〜い!!」

「かんぱ〜い...!」

(よ...よし...ノエルちゃんが...っ...
ハメ外さないよう...ちゃんと見てあげなきゃ)

〜1時間後〜



「ちよっ…ちよつと…
ノエルちゃん…ノエルちゃん…
飲み過ぎ…!!」

「あえ…?」
別にい…じゃんかあ…♡」

「ん…♡君も飲もうよお♡」

「あいや…俺はあんま酒好きじゃないってか…
ノエルちゃんが心配だから来たから…
そんな飲んでない…っていうか…」

ボン…
ボン…



（やばいやばい……全然止まんない……
飲むのやめてくれない……）

（だいぶ出来上がっちゃってるな……どうしよ……）

（いやまあでも……!!
持ち帰られそうになった時俺がそれを止めれば……
大丈夫……!!大丈夫……!!）

（俺が連れて帰りますって言えば……
大丈夫……大丈夫……!!）

（数時間後）



「……………はあ…♡
飲みすぎちゃったかも……………」

「おっ…?」

「だっ…大丈夫…?
ノエルちゃん……………」

「ん…大丈夫大丈夫……………」

「本当に…?」

「数分後」



「……ふあ……あ……」

「ちよっ……ちよつと飲み過ぎ……
そろそろ帰った方がいいよ……っ……」

(い……言えるっ……言っちゃえ……!!
他の奴に持って帰られる前に!!)

「俺が送ってくから……っ……!!」

「ちよいちよいちよい」



「ノエルちゃん大丈夫？」

「あ…はあい…」

「あっ…あ…あ…っ…っ…と…」

「飲みすぎじゃね？
ウチまで送ってどうかあ？」





(待て待て待て待て……っ
こいつっ……ノエルちゃんを……っ)

(こいつに言っつてやらなくちゃ……っ
僕が連れて帰るから……っつて
どっか行けっつて……言え……言えっ……)

(言わないと……っ……)

(こいつに連れて帰られたら……っ
ノエルちゃん……ノエルちゃんっ……!!
!!)

「ぼっ……僕があっ……!!」

「じゃ…お願いしますう……」

「あ…」

「おっけー!!」

「じゃさつさと出よっか
ちよつと途中コンビニ寄るけど大丈夫？」

「コンビニ……？
まあいいでふけど……」



「よっしや!!ほくらノエルちゃん、早く立って立って」はっ...

「はあい……皆お疲れ様……」

「お疲れ〜」 「またね〜」

「もっと早く声かければよかったあ」

「バカW
先輩に殺されっぞW」

「羨まし〜」

「あのデカ乳独り占めかよお」

「あとでハメ撮り貰おうぜ」

「うわ〜先輩やったなあ」

「ずり〜」

ザッ

はっ...

はっ...

はっ...

はっ...はっ...

はっ...



1時間後



よーかめた♡

ドグンドグ
ドグンドグ

ド
ン
ッ



（か…帰してくれるかなあ…先輩…
いや…でも嫌だっけ言ったら帰してくれる…よね？）

チリッ…

（無理やりしたら…犯罪…だもんね
先輩犯罪者になっちゃうもんね…）

（絶対帰してくれるよね…？
大丈夫だよ…？）



「あっつ…あのお…!!」

「ん……?どした?」



「えっつとえっつと……」

「あっの……さっきまでは酔っちよってっ……
何も分からなくなっでてえ……」

「それでっ……今酔い覚めて……」

「まともに考えれるようになったっというか……」

「さすがにえっちは……ちよっと……っというか……
おうち……帰して欲しいなっで……」



「えー、さっきはいいつつたじゃーん」

「それはあ……酔ってたから……
つい適当に言っちゃって……」

「む……っ……無理やりしたら……
私、警察行きますからねっ……」

「きよ……うのことは……っ
2人とも……忘れましょっ……」



「はぁ~~~~マジかよ
絶対食えるって思ってたのになぁ」

「.....はぁ~あ」

ボンボン

「このデカケツとデカ乳
好き放題にしたかったぁ.....」

（ううっ.....）

私の体で何考えてるのお.....っ）

ゴホンッ



（でっ…でもっ…
話分かってくれる人でよかった…）

（家に帰れるう…）

「あゝあ、これどうしよ…
…どうすりゃいんだよ」

（……？
これってなんだろ……？）



「ふえ……ふえ……」

「…あん？」

「なに？」

「あつ…いや…えっ…」

んん

じきじき

ズイ…

キュン

キュン



（あれっ…でかくね…っ!!）

（えっあんな勃つの）

（元カレのとは全然違うんだけどっ…）

ムリッムリッ♡

バキッ♡

うず…

うず…



ぐんぐん……♡

(あゝ………?)
何だこの反応……)

(はゝんなるほど………
……コイツ、食えそうだな………)



「……何見てんの？ノエルちゃん」

「いっ、いやっ…見てない…です…」

ズン
ズン
ズン

「嘘つけ……」

そじ…



ズイ...

「あっ...♡」

「見てえんなら見せてやるよ、ホラ」

ズイ



(あゝやば……)

(匂い凄っ……)

(てかやっぱデカ……っ……)

(あつめちやハメたい……♡)

グ……♡

ム……♡



「で、どうする？
……今日やめとく？」





「……だけ……」

「ん〜?」



「1回だけなら…っ」



「へへっ……
最初からそう言ってりゃいんだよ♡」

「じゃ、いただきますーす……♡」

（やっぱあ……言っちゃった……
ま……でも1回だけだし……大丈夫……だよね？）







あー...うは...
うは...
♡

うは...うは...
うは...♡
♡

うは...
うは...♡

うは...
うは...♡

「いやーノエルちゃん…っ…」

「めっちゃ締まりいいねっ…」

「相性抜群じゃん俺ら」

「全然収まんねえわ」

（すっごいよかった…
クセになっちゃいそ…♡）

ビクッ♡



「ね、もっかいやんね？」

「いっ…いやっ…1回だけって…」

「そういう…約束で…」



「でもまだまだやり足んなくてさ」

ん……♡

チッ……

「後1回くらい……
付き合ってくんね？」

（まだあんなにガッチガチ……♡）

キュッ……♡



「ね、後1回だけ」

(んんう…)



「いつ…1回だけ!!
後1回だけですよ…!!」

「へへっ♡」

（やっぱちよれ♡
わりいな♡
他ん持ち帰ろうとしてた奴ら♡）



ソグ♡

ソグ♡

(言っ…言っちゃった…♡
けどっ…あと1回だけだし…ね…!!)
(大丈夫、大丈夫…♡
ハマってなんかない…から!!)

グズ♡

グズ♡



「はいっ♡
じや次もよろしくね♡」

うあ…♡

（大丈夫っ…大丈夫…
ハマったり…せんから…!!）

（これで最後だから…っっ）

キュン♡

キュン♡



数時間後







ぎゅっ♡

ぐゅっ♡

ぐゅっ♡

ドロっ♡



ふ...♡♡
はあ...♡

お...♡
お...♡
...♡

モア...♡

ふー！

「はー気持ちよかった♡」

「マジノエルちゃんと相性いいわ
ケツもマンコも最高♡」



「……まだ使いますか……？」

「お……っ……♡
へへっ……じゃ使わせてもらおうわ」

ニヤ♡

「にしてもマジでド変態じゃん
1回だけとか言ってたくせに♡」

「んもう……それは言わないで……♡」

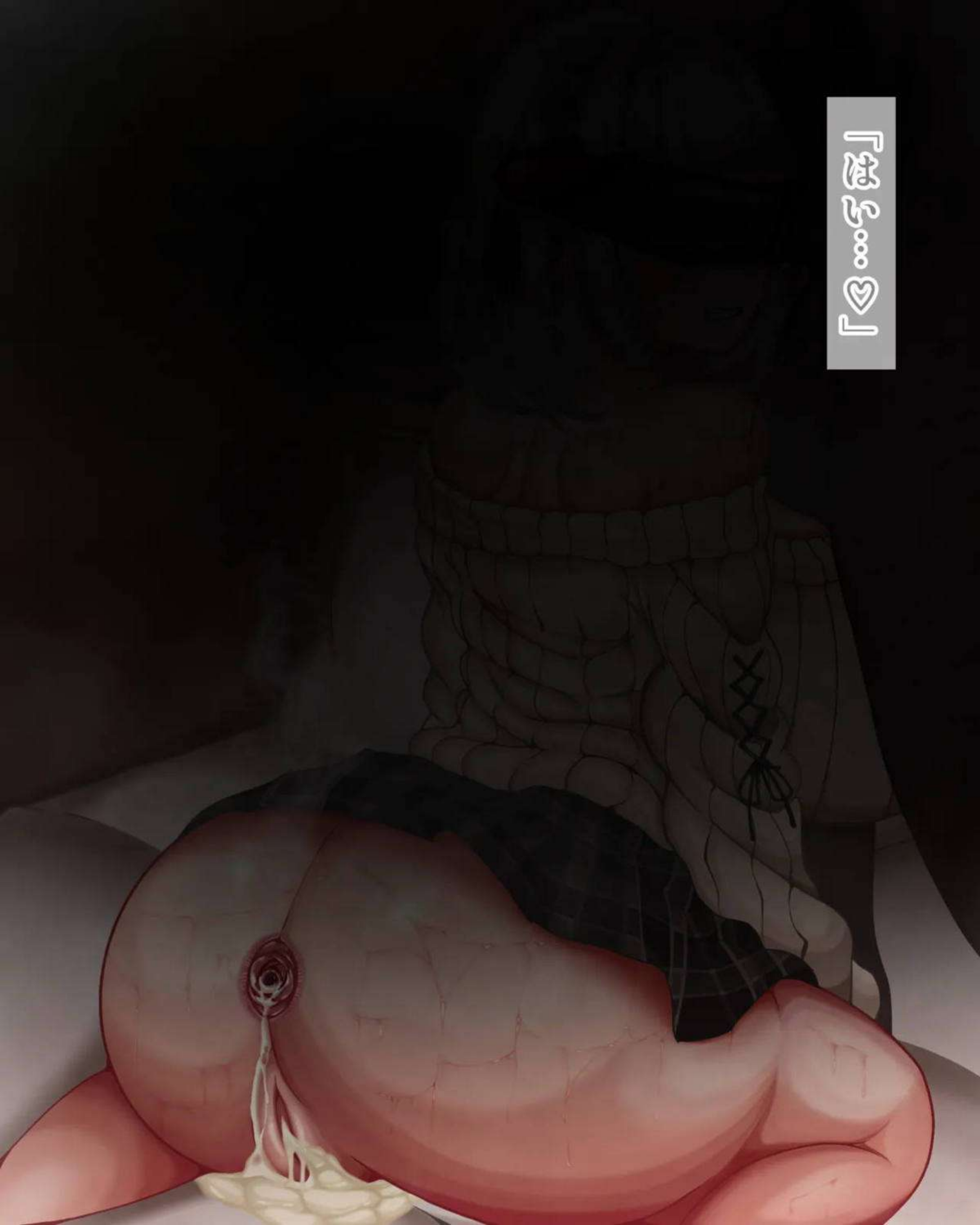
「はいはいっ……♡」



「欲しいのはこれね……♡」



『越えろ♡』



一方で



「はあ………」

（ノエルちゃんのこと守ろうと思って
わざわざ着いて行っただのに……）

（なんだよこのザマ……つつ……）

（ノエルちゃん……今頃……クソツ……）

「クソツ……!!」

ザマザマ

「ん……なんだ……?」

「あじろの森の森」

アジロの森

DOWNTOWN STREET

ほい

0:49

今日

「……♡♡……!!」



0:49



ほい

0:49

今日



はあ...

はあ...

0:49

きた

0:49

羨まし〜!

0:49

ほい

0:49

今日



0:49

きた

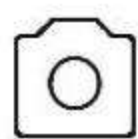
0:49

羨まし～！

0:49

マジちよろかったわ～今度お前らにも貸してやるよ

0:49



マ?

0:50

今日

いいんすか！やった～！

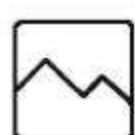
0:50

ノエルちゃんやりたかったから
助かる～来週くらい頼む

0:50

おっけー

0:50



今日

マ?

0:50

いいんすか! やった~!

0:50

ノエルちゃんやりたかったから
助かる~来週くらい頼む

0:50

おっけー

0:50

俺も混ぜてくれ~今度他の女貸
すから

0:51

なら俺も混ぜてください!!!!

0:51

お願い!

0:52

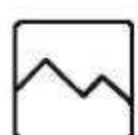
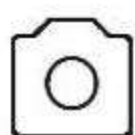
いいよ

0:52

やったー!

0:52

「うつつ…ノエルちゃん…」



今日

マ?

0:50

いいんすか! やった~!

0:50

ノエルちゃんやりたかったから
助かる~来週くらい頼む

0:50

おっけー

0:50

俺も混ぜてくれ~今度他の女貸
すから

0:51

なら俺も混ぜてください!!!

0:51

お願い!

0:52

いいよ

0:52

やったー!

0:52

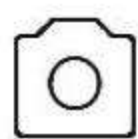
つかノエルちゃんマジ名器だから
ちゃんと溜めとけよお前ら笑

0:53

クソ楽しみ

0:53

「本当なら……
本当なら僕が……」



「ノエルちゃんと……」

「ヤ……ヤレてたはずなのに……ッッ」

《僕はその後……》

サーバーに続々と投稿されていくノエルちゃんの痴態を見て
何度も何度もオナニーした》

《股間が痛くなつて、擦り切れそうになつてもした
自分の無力さと、気持ちの悪さを誤魔化すために》

《オナニーし終わつて、気絶するように眠つた後
僕は飲みサーのグループから抜けた
……飲みサーからも抜けた……》

《ノエルちゃんに合わせる顔がなかった
自分もあのクズと考えていたことは同じだった
彼女と会いたくないとまで思った……》

《後日聞いた話だと
ノエルちゃんはあるの後先輩と付き合つたらしい
……羨ましくなんてない》

《もう僕と彼女は、関係ないのだから……》



